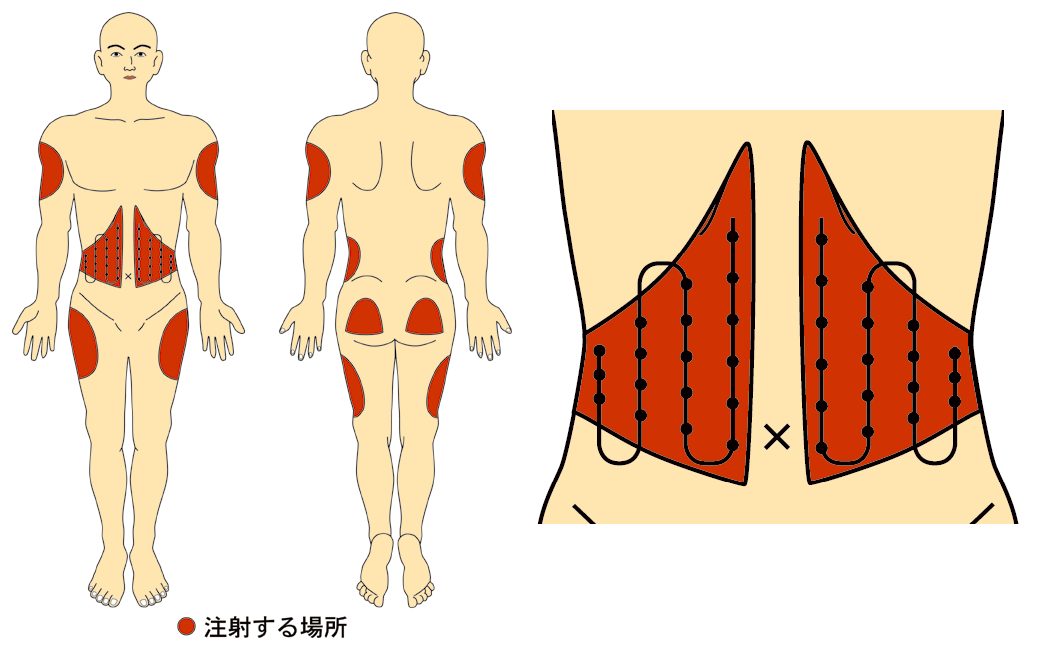
糖尿病治療用製剤について

1. 注射を打つ部位

* 皮下注射の場合には、お腹(腹壁)、上腕、太ももが良いです。
* 注射部位によって吸収のされ方が違うため、「お腹ならお腹」、「太ももなら太もも」と同じ部位に注射しましょう。
* 同じ場所に繰り返し何度も注射していると、ききめが悪くなるので注射する場所は毎日変えましょう。

　　　前回注射したところから、２～３cm離れたところに注射しましょう。



お腹

1. 消毒用アルコール綿

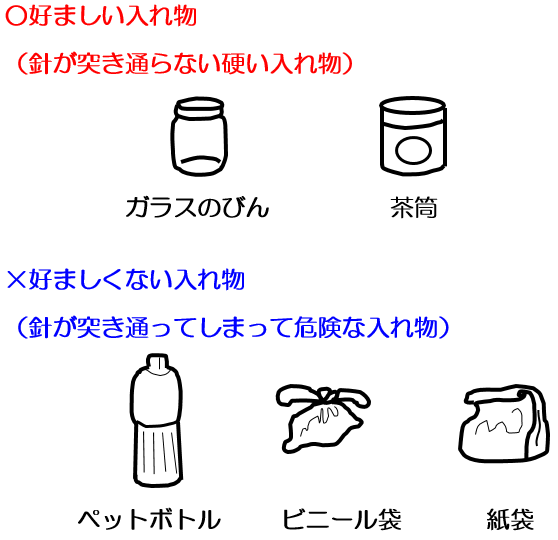
　　　消毒用アルコールは病院から支給された物を誤使用ください。

　　　使用済みのアルコール綿はご家庭の「燃やせるごみ」と一緒に捨てて良いです。

1. 針の処理方法

　　　使用後の注射の針は、**ふたの付いた缶やビンなど針が突き通らない容器**に入れ、まとめておいて、医療機関受診時に注射室あるいは薬剤部に持ってきてください。

　　　医療廃棄物となりますので、ご家庭の他のゴミと一緒に捨てないでください。



1. 注射薬の保管

　　　使用**前**の注射薬　→　凍らせないように冷蔵庫で保管

　　　　　　　　　　　　　　　※一度でも凍ってしまった物は使わないでください。

　　　使用**中**の注射薬　→　**冷蔵庫には入れず**、室温で直射日光などを避けて保管

1. 注射前後での注意点

　　　使用前：【特定薬剤に限る】

　　　　　　　混合型インスリンとNインスリンはゆっくりと10回以上振ってから使いましょう(白濁液を均等にするため)。

　　　使用後：注入ボタンを押しきった状態のままゆっくり６病以上数えると効果が出ます(すぐに抜くと液が身体の外に漏れてしまうことがあります)。

